

忌部川で工事見学会を開催しました

河川課 河川海岸整備係
松江県土整備事務所

令和5年(2023年)6月1日に「^{しょうとく}松徳学院中学校1年生」と「^{いんべがわ}乃木地区流出水対策協議会」を招き、忌部川河川改修工事の現場見学会を開催しました。

見学会の内容

■松徳学院中学校1年生のみなさま

松徳学院は「水の保全および賢明で持続的な利用」を目標として、生徒自身が地域に目を向け、自ら課題を発見し解決する取り組みを行っています。

その一環として、中学1年生22名の生徒さんが、忌部川の水质調査を実施されました。これにあわせ、改修工事の現場を見学してもらい、工事の目的などを説明しました。



生徒さんたちからは、川に生息する生き物のことや、工事の内容について質問がありました。

川が自分たちの生活や生態系にどのような影響を及ぼすかを学んで、将来に活かしていただきたいです。

■乃木地区流出水対策協議会のみなさま

松江市乃白町地内で工事を進めている忌部川の河川改修現場を見学していただき、工事の状況や目的を説明し、防災意識を高めるお手伝いをさせていただきました。



忌部川の工事って??

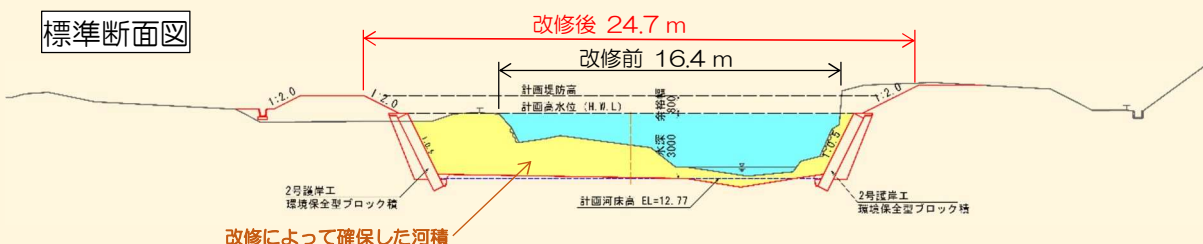
忌部川は、松江市の橋南市街地を流下し穴道湖に注ぐ延長約7.3 kmの一級河川です。

忌部川では昭和39年(1964年)、昭和40年(1965年)の梅雨前線豪雨等による洪水で、大きな浸水被害が発生しました。これらの被害をうけて、昭和43年(1968年)から河川改修事業に着手しています。

事業区間は下流側約2.4 kmで、そのうち約1.9 kmが整備完了、残りの区間についても令和10年(2028年)ごろまでの完成を目指しています。



標準断面図



佐陀川で新武代橋の供用が開始されました

河川課 河川海岸整備係

事業概要

佐陀川は宍道湖から旧鹿島町の中心市街地を経て日本海に注ぐ、8.35 km の一級河川で、江戸時代に宍道湖の放水路として整備された人工水路です。

佐陀川は日本海と宍道湖を結んでいるため、潮位の影響を受けやすく、浸水被害が度々発生しており、特に昭和 47 年（1972 年）7 月の洪水では大きな浸水被害が発生しました。

これをうけて島根県では、佐陀川改修の計画を立て、地元調整を重ね、平成 9 年（1997 年）に工事に着手しました。

現在は、近年で特に被害が大きかった平成 18 年（2006 年）と同規模の水害に対して浸水被害を解消するため、湊橋～鹿島マリーナ間を先行整備しています。



新武代橋（橋梁形式：プレストレストコンクリート床版橋）



新武代橋は、河道拡幅に支障となる武代橋の代替施設として架設された全長 41.8 m の PC 橋です。松江市が原発避難路として整備する市道根連木池平線の一部として、平成 27 年（2015 年）10 月に着手し、令和 5 年（2023 年）5 月 18 日に供用を開始しました。

今後は、先行整備区間を令和 10 年（2028 年）ごろまでに完了し、残りの事業区間についても早期完成を目指します。

佐陀川をつくったすごい人：清原太兵衛（1711～1787）

江戸時代中期、斐伊川流域から宍道湖へ流れ込んだ大量の水の出口は大橋川と天神川しかなく、宍道湖周辺の人々は度々の洪水に苦しんでいました。そこで松江藩士だった清原太兵衛は松江藩に進言し、現在の浜佐陀から恵曇までの開削工事を約 3 年かけて行い、新たに水の出口を増やしました。これが佐陀川です。

太兵衛の功績により、宍道湖の水位は下がり、沼地だった箇所は水田になり、佐陀川は船の航路にもなりました。太兵衛は佐陀川工事の完成直前に残念ながら 76 歳で亡くなってしまいましたが、太兵衛の成果はこれからも生きていきます。



佐太神社近くの「さいのかみ公園」には清原太兵衛の銅像が佐陀川の安全を見守るように建てられています。

第45回 島根県中学生「水の作文コンクール」の審査結果について

河川課 管理係

私たちが生きていくうえで欠かせない「水」の貴重さ、重要性について理解を深めるため、国では毎年8月1日（水の日）から1週間を「水の週間」と定め、全国で様々な行事が催されています。

島根県でも、次代を担う中学生を対象に、島根県中学生「水の作文コンクール」を実施しました。審査の結果、下記のとおり入賞作品が決定しました！

なお、入賞作品については、国土交通省主催第45回「全日本中学生水の作文コンクール」に推薦しています。

【最優秀賞】

湖南中学校 3年 ^{たかくさき}高草木 ^{はるか}晴香
「天の川のような」

【優秀賞】

開星中学校 3年 ^{のつ}野津 ^{ひびき}日々輝
僕の好きな中海
開星中学校 3年 ^{のつ}野津 ^{いっき}一輝
奥大山の水の秘密

受賞おめでとう！



私たちが毎日何気なく使っている水ですが、飲み水、川や海などのレジャー、水力発電などのエネルギーとしても利用されている一方、洪水や土石流などの災害を引き起こす一面があるなど、様々な顔をもっています。島根県中学生「水の作文コンクール」では、暮らしに深く関わっている水について考えるとても良い機会となります。

是非、来年度の島根県中学生「水の作文コンクール」にも、一人でも多くの中学生の皆さんに応募していただきたいと思います。



※入賞作品は、島根県土木部河川課のWebサイトに掲載しています！

<https://www.pref.shimane.lg.jp/infra/river/kasen/contest/dai45mizunosakubunsinnnsakekka.html>

令和5年度「土砂災害防止に関する絵画・作文」の募集について

砂防課

島根県と国土交通省では、次代を担う小中学生の皆さんに土砂災害及びその防止についての理解と関心を深めていただくため、土砂災害の様子や避難の体験、防災への備えなど土砂災害防止に関する作品を募集しています。

●応募資格／県内の小中学生

●応募方法／

【絵画の部】 サイズ、表現方法は自由

作品の裏面に、画題、学校名、学年、氏名及びふりがなを明記

【作文の部】 400字詰め原稿用紙で

- ・ 小学校低学年（1～3年生）は2～3枚（800～1,200字）程度
- ・ 小学校高学年（4～6年生）は3～4枚（1,200～1,600字）程度
- ・ 中学生は4～5枚（1,600～2,000字）程度

作文冒頭に、表題、学校名、学年、氏名及びふりがなを明記

※未発表のものに限ります

●応募締切／令和5年（2023年）**9月15日**（金）消印有効

●応募先／島根県土木部砂防課 「土砂災害防止に関する絵画・作文」担当

●表彰等／優秀作品に表彰と副賞、応募者全員に参加賞を贈呈

●問合せ先／島根県土木部砂防課 電話 0852-22-5206

※詳しくはWebサイトをご覧ください。

島根 絵画作文募集



https://www.pref.shimane.lg.jp/bousai_info/bousai/sabo/sabou_rekishi/bousi_gekkan/kaigatou.html



令和4年度 絵画の部 最優秀賞作品

豪雨災害に気をつけましょう

河川課防災係



7月は豪雨に気をつけましょう

梅雨の期間は、梅雨前線の影響で大雨、洪水などの自然災害が発生しやすい季節です。年間を通して、7月は特に豪雨災害が発生しやすい月となっています。近年の災害で全国においても「平成29年(2017年)7月北九州豪雨」、「平成30年(2018年)7月豪雨」、「令和2年(2020年)7月豪雨」といくつも災害が発生しており、島根県においても「平成25年(2013年)7月豪雨(県西部)」などの災害が発生しています。

島根県では、過去59年間で発生した14回の豪雨の内、半数以上の9回が7月に発生しています。

昭和39(1964)年7月豪雨(県東部)	死者、行方不明者：110名
昭和47(1972)年7月豪雨(県西部)	死者、行方不明者：28名
昭和58(1983)年7月豪雨(県西部、浜田)	死者、行方不明者：107名
昭和63(1988)年7月豪雨(県西部)	死者、行方不明者：6名
平成18(2006)年7月豪雨(県東部)	死者、行方不明者：5名
平成25(2013)年7月豪雨(県西部)	行方不明者：1名
平成25(2013)年8月豪雨(県西部)	死者：1名
平成29(2017)年7月豪雨(県西部)	集落孤立(4日間)
☆大雨特別警報発表	
平成30(2018)年7月豪雨(県西部)	家屋被害(床上浸水、床下浸水)
☆江の川が下流で氾濫	
令和2(2020)年6月豪雨(県東部)	家屋被害(床下浸水)
令和2(2020)年7月豪雨(県全域、江の川)	家屋被害(全壊、半壊、床下浸水)
☆江の川が下流で氾濫	
令和2(2020)年8月豪雨(隠岐)	家屋被害(床上浸水、床下浸水)
令和3(2021)年7月豪雨(県東部、雲南)	家屋被害(全壊、半壊、床上浸水、床下浸水)
令和3(2021)年8月豪雨(台風9号(隠岐))	家屋被害(半壊、床下浸水)
令和3(2021)年8月豪雨(県全域、江の川)	家屋被害(半壊、床上浸水、床下浸水)
☆江の川が下流で氾濫	



気象・防災情報を活用し大雨に備えましょう

大雨、洪水の被害を防ぐためには、国や県が行う対策などの「公助」だけでなく、自らの命を守るための「自助」が重要です。防災情報を自ら収集し、避難するタイミングをあらかじめ決めておくなど、大雨に備えましょう。

防災に関する情報は、気象庁のWebサイトや島根県水防情報システムにアクセスすることで確認できます。島根県水防情報システムでは、水位、雨量や河川カメラ画像を公開しています。



島根県水防計画は島根県のWebサイトで閲覧できます。

https://www.pref.shimane.lg.jp/bousai_info/bousai/bousai/suibo/suiboplan/

令和3年(2021年)7月豪雨の様子

三刀屋川(雲南市)



国道54号(雲南市)



比津川(松江市)



神戸川(飯南町)



豪雨災害に備えるための取組

～排水ポンプ車を用いて **訓練** を行いました!～

豪雨災害の多い7月を前に、県内各地で排水ポンプ車を使った排水訓練を行いました。島根県では3台の排水ポンプ車を所有しています。平成22年(2010年)に初めて1台導入し、今年度2台導入しました(しまねの河川と海岸だより令和5年(2023年)1月号でご紹介しています)。

これらの排水ポンプ車は、発電機・排水ポンプを1台の自動車に装備しており、25mプールの水(300m³)を約10分で空にする能力があります。

配備した県土整備事務所管内のほか、要請に応じて各市町村に出動し、内水被害の軽減を図ります。



『ダム見学会』～ダムからの情報発信について～

河川課 河川開発室

島根県土木部が管理するダムは 13 基あり、建設中のダムが 2 基あります。ダムはその多くが山間部にあることから、住民の皆様にはどのような施設なのか分かりにくいものです。そのため、島根県土木部では、多くの方にダムについて知っていただくために、希望された方を対象に「ダム見学会」を開催しています。

ダム見学会は、ダムを実際に見て、感じて、理解していただけるように、職員が説明しながら行っています。今年度は既に、布部ダム、山佐ダム（安来市）、三瓶ダム（大田市）、銚子ダム（隠岐の島町）で小学生から中学生を対象に見学会を開催しました。



（布部ダム・山佐ダム見学会の写真）



（三瓶ダム見学会の写真）

↑布部ダム、山佐ダムでは、5つの小中学校の153名の生徒を対象にダム見学会を実施しました。多くの質問をしていただき、ダムへの理解を深めてもらいました。（布部ダム管理所）

⇐三瓶ダムでは、長久小学校を対象にダム見学会を実施しました。ダムの展示室での模型による説明や、ダムの上からの高さを感じてもらいました。（三瓶ダム管理所）

⇒銚子ダムでは、磯小学校4年生を対象に、普段入ることのできないダムの監査廊等（堤体内）を見学していただきました。（銚子ダム管理所）



（銚子ダム見学会の写真）

ダムによって見学会の内容は異なります。ダム見学をご希望の方は、各ダム管理所にお問い合わせください！



～ ダムだより ～

島根県のダムでは、定期的にダムだよりを発刊し、ダム周辺の地域の皆様へダムの見所などの情報発信を行っています。また、6月中旬の出水期前には、梅雨時期の大雨や台風など雨が降りやすい時期となるため、大雨の際のダムからの注意喚起についてもお知らせしています。

（←左は、八戸ダムだより、御部ダムだよりです。）

水の事故に気をつけましょう！

河川課管理係

暑くなり、川や海で遊ぶ機会も多くなるかと思いますが、毎年全国で水の事故が発生しています。水遊びをする際は、当日の気象情報に留意する、危険な箇所に行かないなど、安全に気をつけて楽しんでください。

「海水浴を安全に楽しむための7つの約束」 境海上保安部

海水浴を安全に 楽しむための 7つの約束

1. 1人で泳ぎに行かない。
2. 子供だけで海に行かない。
3. 天気が悪いとき、海が荒れているときは海に入らない。
4. 波打ち際でも足を取られる危険があるので注意する。
5. 開設中の海水浴場以外の場所で泳がない。
6. 疲れているときは、無理せず休憩する。
7. 沖に流されないように注意する。



境海上保安部

ウォーターセーフティガイド 検索



「ストップ！河川水難事故」 国土交通省河川局



出典 / 河川財団「水辺の安全ハンドブック」 Illustration / 山下 航

島根県の河川の水位、気象情報については、島根県水防情報システムもご活用ください！
(最終ページにQRコード掲載)



【編集後記】 河川課 企画調査係 福島

今月号は、河川工事やダムの見学会、水の作文や土砂災害防止に関する絵画・作文コンクール、水難事故や豪雨災害に関する啓発記事と幅広い内容で掲載させていただきました。

記事の中で「佐陀川をつくったすごい人（清原太兵衛）」について紹介させていただきましたが、治水の歴史は長く、佐陀川のように江戸時代から河川改修が行われている川もあります。この記事を読んで、先人の努力により今の私たちの暮らしが成り立っていると改めて実感しました。

身近な川の成り立ちや歴史について勉強してみると色々な発見があると思います。夏休みの自由研究で取り組んでみると大作が出来上がるかもしれませんね。

島根県河川課では、今後も引き続き、河川・海岸に関する話題を提供したいと思います。バックナンバーは河川課 Web サイトにも掲載していますのでご覧ください。

また、出前講座には以下の Web サイトから申し込みますのでこちらもご利用ください。

編集者 島根県土木部河川課企画調査係



河川課 トップページ

<https://www.pref.shimane.lg.jp/kasen/>

河川課 しまねの河川と海岸だより Web サイト

<https://www.pref.shimane.lg.jp/infra/river/kasen/tayori/>



出前講座申し込み Web サイト

<https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/demae/shimanedemaekouza/>

島根県水防情報システム：川の水位・雨量情報や監視カメラが見られます。

PC 版 URL：<https://www.suibou-shimane.jp/pc>

スマホ URL：<https://www.suibou-shimane.jp/s>

携帯版 URL：<https://www.suibou-shimane.jp/m>

スマホ版



携帯版



川の水位情報（危機管理型水位計）：洪水時の川の水位が見られます。

PC・スマホ共通 URL：<https://k.river.go.jp/>